

# 狩猟免許試験の試験内容等について

## 1 試験の内容

### (1) 知識試験（3択問題）

#### ・新規取得者の場合

鳥獣保護管理法、鳥獣に関する知識、猟具に関する知識について全 30 問。ただし、同時に複数の免許種を受験する場合は 1 免許種追加につき、その免許種の猟具に関する知識問題が 6 問追加されます。例えば、2 免許種受験の場合は全 36 問、3 免許種の受験の場合は全 42 問となります。

#### ・追加取得者（既に狩猟免許を所持しており、所持している免許種とは別の免許種を取得しようとする者）の場合

猟具に関する知識（猟具の使用に伴う法令を含む）についてのみ全 10 問。ただし、同時に複数の免許種を受験する場合は 1 免許種追加につき、その免許種の猟具に関する知識問題が 10 問追加されます。例えば、2 免許種受験の場合は全 20 問、3 免許種の受験の場合は全 30 問となります。

#### ・知識試験の合格基準

正解率 70% 以上の場合を合格とします。

### (2) 技能試験

#### ・猟具の判別（網猟免許、わな猟免許）

模擬猟具を見て、狩猟の際に使用できる猟具（法定猟具）か使用してはいけない猟具（禁止猟具）かを判別する問題が課されます。

#### ・猟具の架設（網猟免許、わな猟免許）

網の模擬法定猟具のうち、1 つについて架設が課されます。わなについても同様です。

#### ・分解・組立等の操作（銃猟免許）

試験官が銃の操作について問い、それに対し受験者が模擬銃を使って実際に銃の操作を行う課題です。受験者が 2 人又は 3 人 1 組となって試験を行います。

#### ・距離の目測（銃猟免許）

試験官が目標物を指して目標物までの距離について問い、受験者がその距離を答え、正しく目測ができていないか判定する課題です。

#### ・鳥獣判別（網猟免許、わな猟免許、銃猟免許共通）

試験官から約 5 秒間提示される鳥獣の絵を見て、その鳥獣が狩猟鳥獣であれば鳥獣名を、非狩猟鳥獣であれば×（バツ）を解答用紙に解答する課題です。問題数は 16 問です。

・ **技能試験の合格基準**

猟具の取扱い及び鳥獣判別を合わせて減点方式で採点し、減点数の合計が 30 点以下の場合を合格とします。

**2 合否発表**

試験終了後、2 週間ほどが経ちましたら、順次、合否通知を発送します（電話でのお問い合わせはご遠慮ください）。合格者には狩猟免状を同封します。

なお、合格者の受験番号は新潟県のホームページで公開します。